

（「広報うつのみや」（昭和25年4月1日発行）の中から、  
昭和を感じさせる懐かしい記事をご紹介します。）



（一口メモ） 昭和61年12月に制定された市民の日を記念して、翌年の11月に「ほだっけまつり」が開かれました。主な会場は、八幡山公園と競輪場周辺の「鶴の広場」、御本丸公園と市役所周辺の「亀の広場」で、出展やイベントが行われました。現在の「フェスタ my 宇都宮」の前身となるものです（写真は競輪場での「ほだっけクイズ」）。

# 昭和の記憶

～あんトキの記事から～



## 7万人が集まった「ほだっけまつり」

（広報うつのみや昭和62年11月18日号）

11月1日、市民の日を記念して行われた「ほだっけまつり」には約7万人が参加し、「ほだっけクイズ」などで秋の1日を楽しみました。

また、10月12日～16日、栃木放送を通じて放送された「ほだっけまつりプレクイズ」には、129通の応募があり、全問正解者44人にテレホンカードを進呈しました。

なお、クイズの問題と答は、次のとおり。

- ①市民の日は4月1日である＝○
- ②市の外周はJR宇都宮～上野より長い＝×
- ③宇都宮音頭の作曲者は船村徹氏である＝○
- ④一番人口の多い町は鶴田町である＝○
- ⑤大谷石はあと百年で掘り尽くされる＝×
- ⑥初めて上水道が入ったのは昭和以降である＝×
- ⑦釣天井で有名な殿様は本多正純である＝○
- ⑧栃木景勝百選に八幡山は含まれる＝×
- ⑨最初に市民栄誉賞を受賞したのは渡辺貞夫氏である＝○
- ⑩一番長い橋は桑島大橋である＝○（原文のまま）